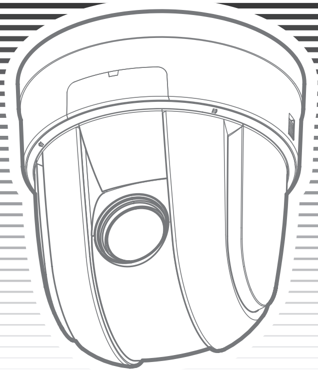
V-HORiZON

ELMO

プリセットドームカメラ

PTC-1000



PTC-1000をご使用になる前に本取扱説明書をよくお読みください。

万一の際に備え、本取扱説明書は大切に保存してください。

概要と特徴

プリセットドームカメラ PTC-1000 は、1/4 型 CCD カラーカメラと 32 倍ズームレンズ、およびプリセット型水平垂直回転台を一体化した小型ドーム形状の監視カメラです。

- 水平回転台は 360°エンドレスで回転し、回転台のプリセット動作速度は、最高 360°/s と高速移動します。
- カメラポジションを最大 256 カ所プリセットすることができます。
- 高性能なデジタル信号処理 IC を採用することにより、高解像度（水平解像度 520TV 本）、高画質（S/N 50dB）を実現するとともに、ワイドダイナミックレンジ機能も搭載しています。
- 32 倍の光学ズームと、16 倍の電子ズームを併用することで、最大 512 倍の高倍率ズームが可能です。

安全にお使いいただくために

安全上のご注意

この「安全上のご注意」は、本機を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために守っていただきたい事項を示しています。ご使用前によく読んで大切に保管してください。

次の表示と図記号の意味をよく理解してから本文をお読みください。

警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

図記号の意味

名称：注意 意味：注意すべき内容を示しています。 具体的な内容は文章や絵で示します。
名称：禁止 意味：してはいけない内容を示しています。 具体的な内容は文章や絵で示します。
名称：強制 意味：しなければならない内容を示しています。 具体的な内容は文章や絵で示します。
名称：風呂場・シャワー室での使用禁止 意味：製品を風呂場やシャワー室で使用することで火災・感電などの損害が起こる可能性を示しています。 図の中に具体的な禁止内容が描かれています。
名称：接触禁止 意味：接触すると感電などの傷害が起こる可能性を示しています。 図の中に具体的な禁止内容が描かれています。
名称：分解禁止 意味：製品を分解することで、感電などの傷害が起こる可能性を示しています。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。
名称：電源プラグをコンセントから抜け 意味：使用者に電源プラグをコンセントから抜くよう指示しています。 図の中に具体的な指示内容が描かれています。

⚠警告

万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のとき、すぐにACアダプタをコンセントから抜く。 そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙などが出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。
万一、機器の内部に水などが入った場合は、まずACアダプタをコンセントから抜く。 ただちに販売店にご連絡ください。 そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
万一、異物が機器の内部に入った場合は、まずACアダプタをコンセントから抜く。 ただちに販売店にご連絡ください。 そのまま使用すると火災・感電の原因となります。 （特にお子様のいる環境ではご注意ください。）
万一、画面が映らないなどの故障の場合には、ACアダプタをコンセントから抜く。 それから販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
万一、機器を落としたり、キャビネットなどを破損した場合は、ACアダプタをコンセントから抜く。 それから販売店にご連絡ください。 そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。 そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
この機器の裏ぶた、キャビネット、カバーは外さない。 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。 内部の点検・整備・修理は、販売店にご依頼ください。
この機器を改造しない。 火災・感電の原因となります。
ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
表示された電源電圧（交流 100V）で使用する。 表示された電源電圧以外では、火災・感電の原因となります。

この機器に水を入れたり、ぬらさない。 火災・感電の原因となります。 雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。	
電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしない。 コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。(コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。)	
電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。コードが破損して、火災・感電の原因となります。	
風呂場、シャワー室では使用しない。 火災・感電の原因となります。	
雷が鳴り出したら本体、ケーブルやACアダプタなどには触れない。 感電の原因となります。	
ACアダプタのプラグの刃や取付面にほこりが付着している場合は、ACアダプタ本体を抜いてから、プラグ上のほこりを取り除く。 ACアダプタのプラグの絶縁低下により、火災の原因となります。	

⚠注意

湿気やほこりの多い場所に置かない。
火災・感電の原因となることがあります。

調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気・水滴が当たるような場所に置かない。
火災・感電の原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近づけない。
コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

ぬれた手でACアダプタを抜き差ししない。感電の原因となることがあります。

ACアダプタを抜くときは、電源コードを引っ張らない。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずACアダプタ本体を持って抜いてください。

移動させる場合は、必ずACアダプタをコンセントから抜く。外部の接続コードを外したことを確認のうえ、移動してください。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

お手入れの際は、安全のため AC アダプタをコンセントから抜いて行う。感電の原因となることがあります。

この機器を長期間、ご使用にならないときは、安全のため必ずACアダプタをコンセントから抜く。
火災の原因となることがあります。

設置および配線工事には経験と技術が必要ですので販売店にご相談ください。

購入後、定期的な点検や内部の掃除を販売店にご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。

ACアダプタのプラグはコンセントに根元まで確実に差し込む。 差し込みが不完全ですと発熱したりほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。	
AC アダプタのプラグは根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しない。 発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。	
レンズを直接太陽に向けない。 太陽光など、強い光の当たる場所に置かないでください。 光が焦点に集まって火災になる場合があります。	

使用上のご注意

- 付属品以外のACアダプタは絶対に使用しないでください。
- 本機は日本国内用に作られたものです。
  必ずAC100V、50Hzまたは60Hzでお使いください。
  電源およびテレビ方式の異なる外国ではご使用になれません。
- 本機に電源スイッチはありません。保守・メンテナンスの際は、必ずACアダプタをコンセントから抜いてください。
- 本機は屋内専用モデルです。屋外ではご使用になれません。
- 保管にあたっては直射日光のあたる所、暖房器具の近くに放置しないでください。
  変色、変形、故障の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所、潮風のあたる場所、振動の多いところには置かないでください。
  使用上の環境条件は次のとおりです。
  温度：-10 ℃～ 50 ℃
  湿度：30%～ 90%（結露しないこと）
- 本機の清掃は、乾いた布で拭いてください。
  シンナーやベンジンなど揮発性のものは使用しないでください。
- カメラレンズを直接太陽あるいは強い光に向けないでください。
  撮影不能になることがあります。
- 電池についてのご注意
  長時間使用しないときは、取り出してください。
  充電式電池（Ni-Cd）は使用しないでください。
  新旧、異種の電池を混用しないでください。
  充電したりショートしないでください。
- 本機は天井設置または据置専用モデルです。
  天井設置の際は、専用の取付金具を使用し、本書P.14 ～ P.18を参考にして、落下防止など、安全性を十分に確認してください。
- ACアダプタは保守・メンテナンスできる場所に設置してください。
- 消耗品について
  次の部品は消耗品です。寿命回数を目安に交換してください。
  消耗品の交換は、保証期間内であっても有料となります。
  レンズ部：約100万動作
  スリップリング：約200万動作
  モータ：約200万動作
  シンクロベルト：約200万動作

- スリップリングのクリーニングについて
  本機では、スリップリングと呼ばれる部品を使って、電源や信号の伝達を行っています。このスリップリングが汚れると、画質の劣化やノイズ等が発生することがあります。スリップリングの汚れ防止のために、約 1 週間ごとにクリーニングを実施してください。

クリーニングの方法

1. 自動で実施する場合
   OSD メニュー [MAIN CONTROL] ／ [CLEANING] の設定を [1DAY] または [1WEEK] にします。

   参照 **OSD（オン・スクリーン・ディスプレイ）による設定（P.31）**

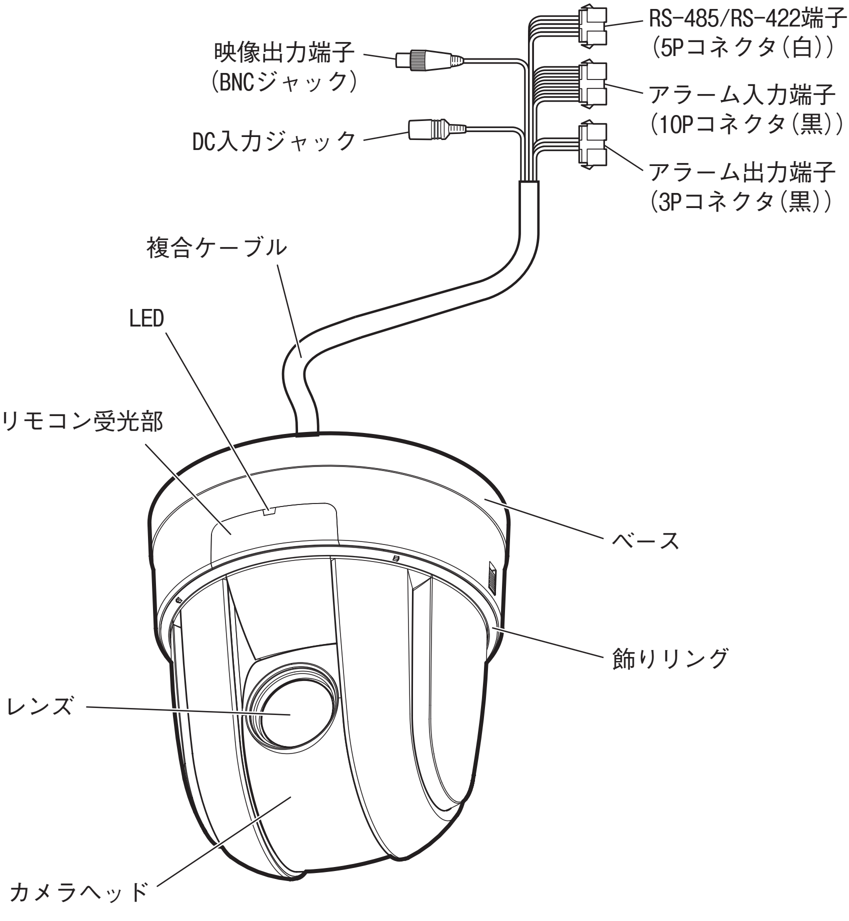
2. 手動で実施する場合
   リモコンの RESET ボタンを押すと、パン、チルトの初期化動作を開始し、クリーニングを行います。

もくじ

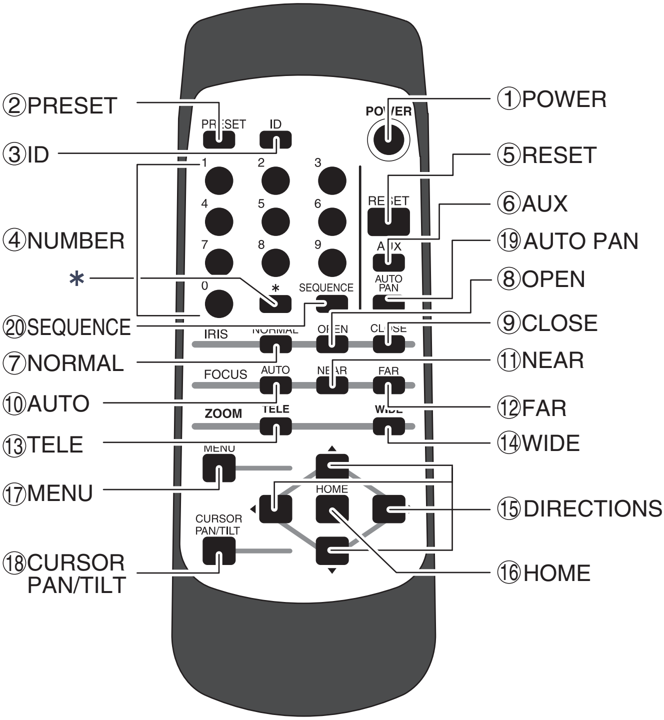
本機概要

各部名称と機能

本体



ワイヤレスリモコン



注意事項

・「＊」ボタンは通常動作では使用しません。

ボタン名称			機能説明	参照ページ
①	POWER		カメラ電源を［ON／OFF］します。	P.21
②	PRESET		プリセットポジションを登録する場合に使用します。	P.25
③	ID		複数台カメラを使用する場合に設定します。	P.30
④	NUMBER		プリセットポジションを実行する場合に使用します。	P.26
⑤	RESET		カメラヘッドの位置を再調整します。	P.22
⑥	AUX		アラーム出力〈2〉からアラーム信号が出力されます。 あらかじめOSDモードの設定が必要です。	P.27
⑦	IRIS	NORMAL	常時輝度レベルが標準状態となるように、レンズ絞り（IRIS）が自動的に調整されます。	P.24
⑧		OPEN	輝度レベルが明るくなります。	P.24
⑨		CLOSE	輝度レベルが暗くなります。	P.24
⑩	FOCUS	AUTO	オートフォーカス状態にします。	P.23
⑪		NEAR	近くの被写体にフォーカスを合わせます。	P.24
⑫		FAR	遠くの被写体にフォーカスを合わせます。	P.24
⑬	ZOOM	TELE	ズームイン（望遠側）します。	P.23
⑭		WIDE	ズームアウト（広角側）します。	P.23
⑮	DIRECTIONS		カメラヘッドの向きを可変させます。 OSD上のカーソル操作で使用します	P.22、P.31
⑯	HOME		ホームポジションへ移動します。 OSD上のカーソル操作で使用します。	P.22
⑰	MENU		OSD表示をON/OFFします。 階層メニューでは１つ前の画面に戻ります。	P.30、P.31
⑱	CURSOR PAN/TILT		メニュー操作を一時中断します。	P.31
⑲	AUTO PAN		オートパン動作の［開始/停止］をします。	P.28
⑳	SEQUENCE		シーケンシャル動作の［開始/停止］をします。	P.29

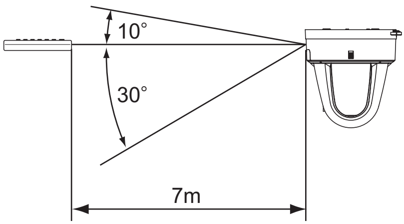
※ OSD（オン・スクリーン・ディスプレイ）

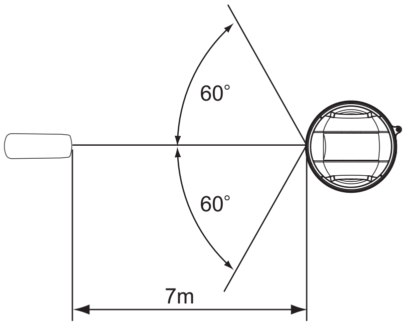
ワイヤレスリモコン

ワイヤレスリモコン（以下、リモコン）の赤外線発光部をカメラ本体前面にある受光部に向け、希望する動作のボタンを押し、カメラ本体を操作します。

受信可能範囲

距離：受光部正面から約 7m 以内
角度：受光部正面より左右約 60°、上約 10°、下約 30°以内





注意事項

- 太陽光やインバータ蛍光灯の近くなど、周囲の状況により受信可能範囲が短くなったり、受信しないことがあります。その場合は受信側の設置場所を変更するか、太陽光などを遮ってください。
- 電池は、リモコンの裏面にある [▼] マークを矢印の方向へ押し、電池ケースカバーを外して単 4 電池 2 個を入れてください。
- 極性（+ / −の向き）には十分注意してください。
- 電池は必ず単 4 電池を使用してください。
- 年に一度は電池を交換してください。
- 付属品の電池は最初の動作確認用のものです。有効使用期間は保証しておりません。

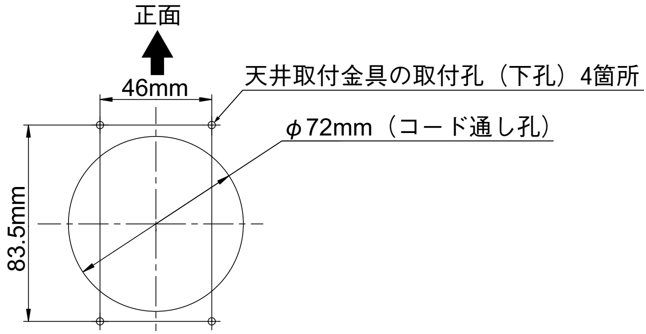
隣接して設置された複数台のカメラは、リモコン操作を受信するとすべて同じ動作をします。
各カメラにあらかじめ ID 番号を設定し、リモコンから ID 番号を指定すると個別にカメラを操作することができます。
ID 番号は、最大 9 台まで割り当てることができます。

参照 **ID 番号設定（P.30）**

設置方法

注意事項
・本機を持ち運ぶ場合は、必ずベース部分をお持ちください。
・カメラヘッドのパン・チルト回転部を手で動かさないでください。故障の原因となります。

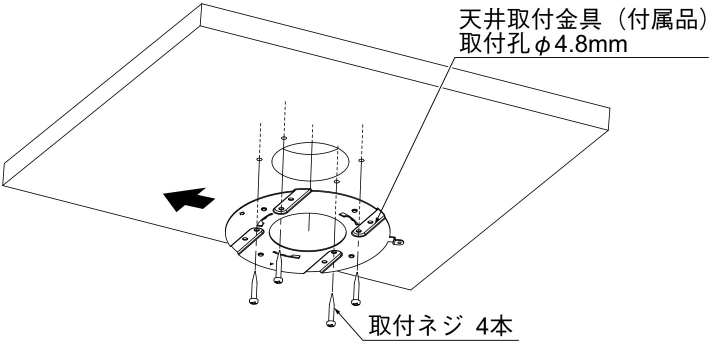
1. 本機を設置する場所（天井）に、取付孔およびコード通し孔を開けます。



⚠警告
本体・天井取付金具を合わせた質量は約1600gです。
取付ける天井は、本体・取付け金具を合わせた質量に十分耐えられるかを確認してください。
十分な強度がない場合、落下の原因となります。

2. 付属の天井取付金具を、天井に取り付けます。

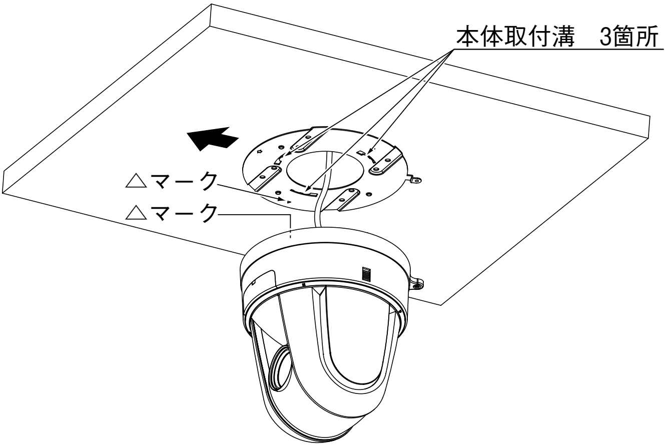
取付ネジ 4 本でしっかりと固定します。
取付ネジ 4 本は付属品ではありません。別途、お求めになってください。



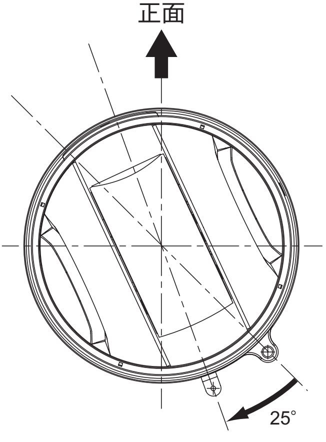
> ⚠警告
> 金具取付ネジはしっかりと締め付けてください。
> しっかりと締まっていない場合、落下の原因となります。

3. 本機を天井取付金具に取り付けます。

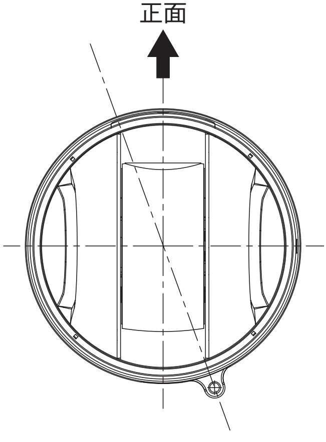
天井取付金具の [△] マークと、本機裏の [△] マークの方向を合わせます。



4. 天井取付金具の溝（3 箇所）へ本機裏の爪部（3 箇所）を差し込み、時計回りで 25°回します。

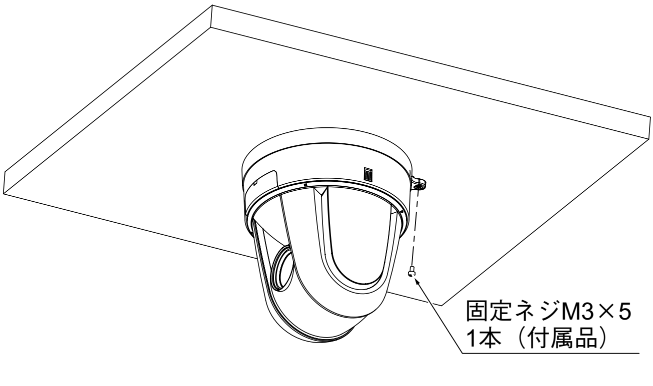


A-1



A-2

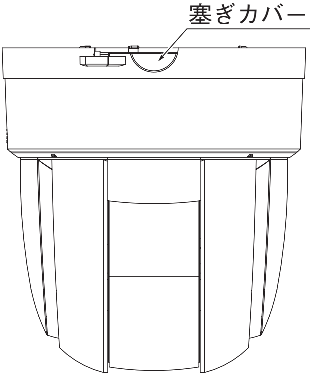
5. 本機と天井取付金具を、付属の固定ネジで固定します。



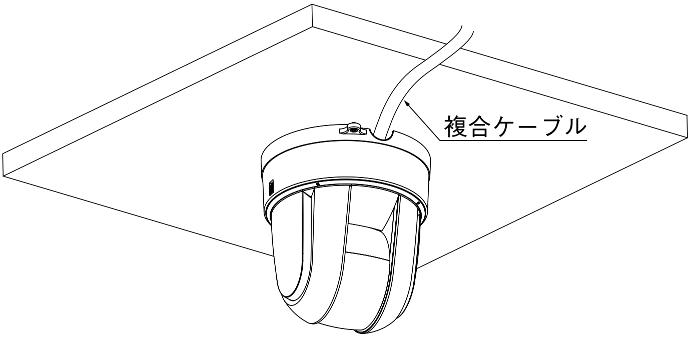
複合ケーブルを本機背面へ取り出す場合

複合ケーブルを本機背面へ取り出す場合は、本機を天井取付金具に取り付ける前に以下の処理を行ってください。

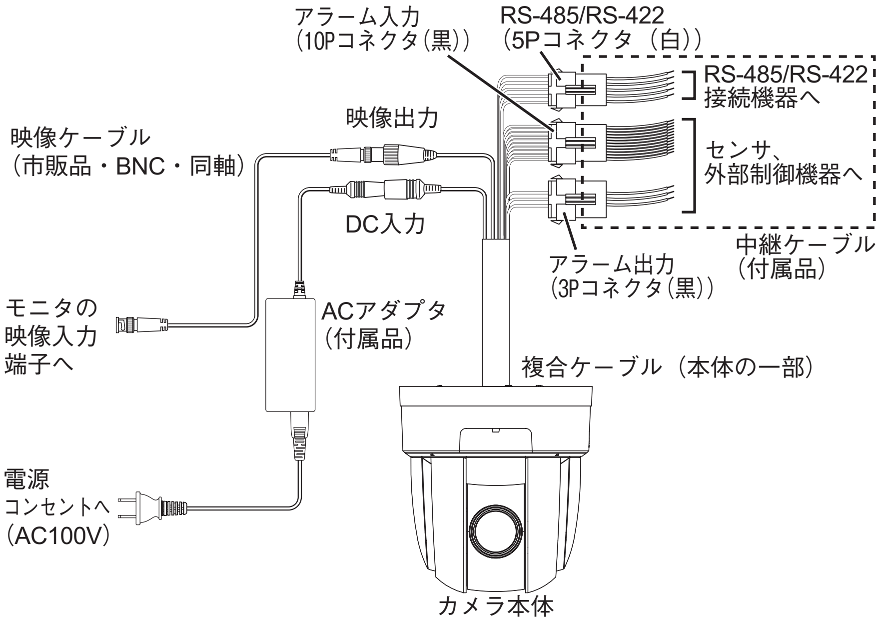
1. 本機のベース背面塞ぎカバーをペンチなどではさみ、取り除きます。



2. 複合ケーブルを本機の背面から出しながら、本機を天井取付金具に取り付けます。



接続のしかた



RS-485/RS-422 端子(5P コネクタ)

ピン番号	端子名	コード色
①	DATA(+) / DATA OUT(+)	茶
②	DATA(−) / DATA OUT(−)	赤
③	未接続 / DATA IN(+)	橙
④	未接続 / DATA IN(−)	黄
⑤	GND	緑

アラーム入力端子(10P コネクタ)

ピン番号	端子名	コード色
①	ALARM IN1	黒
②	ALARM IN2	白
③	ALARM IN3	青
④	ALARM IN4	紫
⑤	GND	灰
⑥	ALARM IN5	桃
⑦	ALARM IN6	黄土色
⑧	ALARM IN7	白/黒
⑨	ALARM IN8	灰/黒
⑩	GND	橙/黒

アラーム出力端子(3P コネクタ)

ピン番号	端子名	コード色
①	ALARM OUT1	薄紫
②	ALARM OUT2	薄青
③	GND	薄緑

注意事項

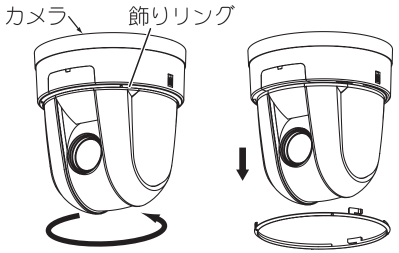
- RS-485/RS-422・アラーム入出力ケーブルについては、配線後、裸線部分が露出しないように絶縁処理を施してください。
- 映像ケーブルの BNC コネクタ(金属部分)が外部の金属と触れないようにしてください。

ドームカバー設置

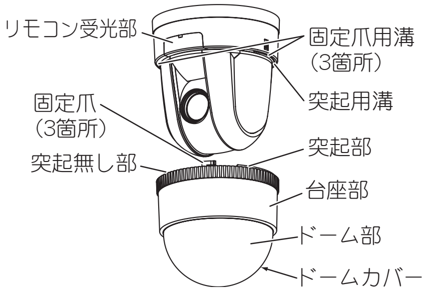
付属のドームカバーを取り付けます。

ドームカバーの取り付けかた

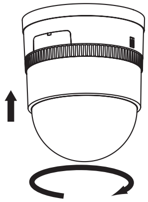
1. カメラの飾りリングを左に回して外します。



2. ドームカバーの突起無し部とカメラのリモコン受光部の方向を合わせます。



3. ドームカバーの固定爪（3 箇所）に挿入し、右に回します。
ドームカバーが固定されます。

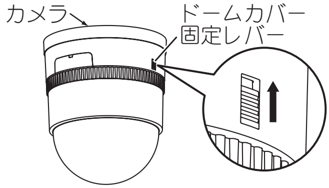


注意事項

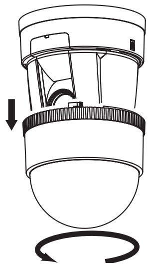
・ドームカバーのロックは、クリック感があるまでドームカバーを回してください。
ドームカバーのロックが十分でない場合、ドームカバーが落下し、けがや破損の原因となります。

ドームカバーの取り外しかた

1. カメラ側面のドームカバー固定レバーを矢印方向に押し、ロック解除状態にします。



2. ドームカバーを左に回します。
ドームカバーが外れます。



カメラのチルト動作範囲を制限する場合

カメラのチルト動作範囲の工場出荷時設定は、上 15°下 195°に設定されています。
撮影時に台座部の映り込みがあるため、動作範囲制限を設定し調整します。

1. OSD［PAN TILT］で［DOME COVER］を［ON］に設定します。
カメラのチルト移動量制限が設定されます。カメラの撮影範囲がドーム部のみに設定されます。
動作範囲は下 15°～下 165°に設定されます。
クリアドームカバー装着時以外は［OFF］に設定します。

参照 **OSD（オン・スクリーン・ディスプレイ）による設定（ P.38）**

注意事項
・ズームイン（望遠側）以外では、台座およびドームカバーの端面の映り込みが発生します。

電源の接続

本機には電源スイッチがありません。
本機と AC アダプタを接続し、AC アダプタをコンセントに接続すると電源が ON になります。
カメラは、電源が ON になると自動的に初期設定を行います。
なお、カメラの電源については、リモコン操作によって、電源の ON 状態とスタンバイ状態を切換えることができます。

本機の操作

カメラの電源 ON ／ OFF 操作

ON にする場合

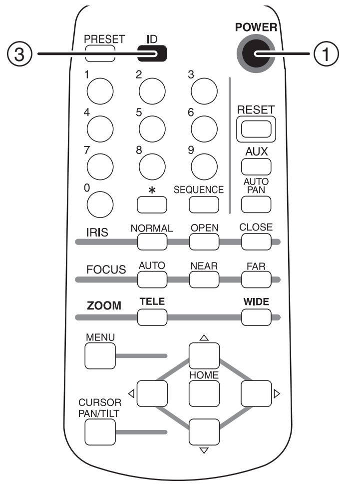
1. カメラの電源 OFF の状態で、
① [POWER] ボタンを押します。

カメラの電源が ON になります。

2. 画面に映像が映り、本体のLED（発光素子）が消灯します。

すべてのリモコン操作を行うことができます。

ID 番号が変更されている場合は、カメラの電源がONにならないことがあります。ID 番号を再設定し、① [POWER] ボタンを押してください。



OFF にする場合

1. リモコン操作が可能な状態にし、① [POWER] ボタンを押します。

カメラの電源が OFF（スタンバイ状態）になります。
ただし、スタンバイ状態のため、ある程度の電流は流れています。

2. 映像が消え、本体の LED（発光素子）が赤色で点灯します。

①[POWER]ボタンまたは③[ID]ボタン以外のリモコン操作は受け付けません。

TIMER OFF 機能動作中の場合は、設定した時間に電源が自動的に OFF になります。

参照 OSD（オン・スクリーン・ディスプレイ）による設定（P.34 ～ P.43）

パン・チルトの操作

上下左右に方向を変える場合

1. **画面を見ながら、任意の ⑮ ▲▼◀▶（上下左右）ボタンを押します。**

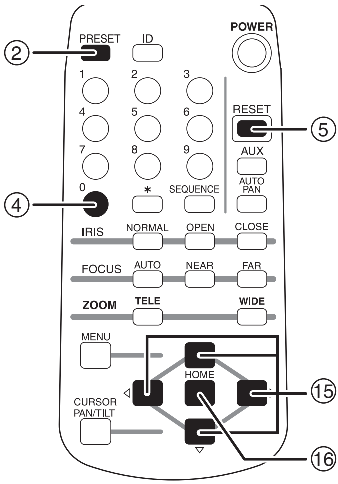
カメラが任意の方向に向きます。

細かく向きを動かす場合は、ボタンを短く押します。

大きく向きを動かす場合は、ボタンを押し続けます。

動作スピードには、ズームポジションにあわせて速度が変わる AUTO モードと、任意で設定ができるMANUALモードがあります。

参照 **OSD（オン・スクリーン・ディスプレイ）による設定（P.34 ～ P.43）**



カメラをホームポジションに移動させる場合

1. **⑯ [HOME] ボタンを押します。**

ホームポジションは、プリセット番号「0」～「255」を任意設定できます。
工場出荷設定では、プリセット番号「0」に設定されています。

参照 **プリセットの操作（P.25 ～ P.26）**

カメラを正面に向かせる

1. **⑤ [RESET] ボタンを押します。**

パン・チルトズーム位置を原点に復帰します。
（パン・チルト位置がずれた場合、[RESET] ボタンで元に戻ります。）

レンズの操作

ズームイン・ズームアウトをする場合

1. ZOOM の ⑬ [TELE] または ⑭ [WIDE] ボタンを押します。

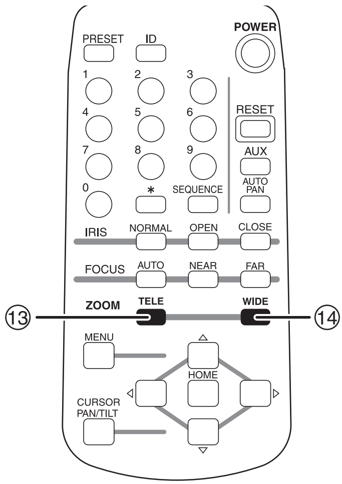
被写体にズームイン（画面上の被写体を大きく）、またはズームアウト（画面上の被写体を小さく）することができます。

2. ⑬[TELE]または⑭[WIDE]ボタンを押し続けます。

ズーム速度が高速になります。（AUTOモード）

任意の速度に設定できる MANUAL モードもあります。

参照 OSD（オン・スクリーン・ディスプレイ）による設定（P.31）



ピントを自動で合わせる場合

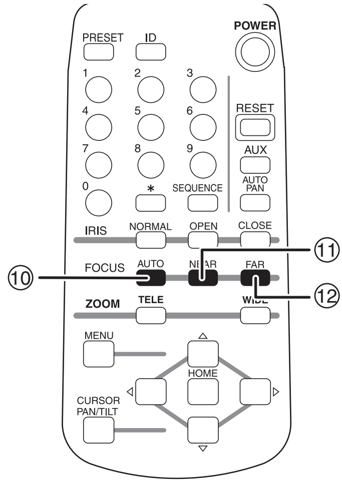
1. FOCUS の⑩ [AUTO] ボタンを押します。

オートフォーカスの状態になります。オートフォーカスのモードは、OSD で設定されている状態（フルオート、インターバル、トリガ、ワンプッシュ）になります。

以下のような被写体の場合は、ピントが合いにくいことがあります。

- 白い壁や夜景など明暗の差がない
- 強い光が反射している
- 動きが速い
- ブラインドなど横じまが多い
- 水滴や汚れのついたガラス越し
- 細かい縦縞がある
- 暗い（特に低速シャッタを長く設定した場合）

参照 OSD（オン・スクリーン・ディスプレイ）による設定（P.31）



ピントを手動で調節する場合

1. **⑪ [NEAR] または⑫ [FAR] ボタンを押します。**

⑪ [NEAR] ボタンを押した場合は、ピントが手前側へ移動します。
⑫ [FAR] ボタンを押した場合は、ピントが遠方側へ移動します。

2. **⑪ [NEAR] または⑫ [FAR] ボタンを押し続けます。**

フォーカス速度が高速になります。（AUTO モード）
任意の速度に設定できる MANUAL モードもあります。

参照 **OSD（オン・スクリーン・ディスプレイ）による設定（P.31）**

レンズ絞り（アイリス）を調整する場合

1. **IRIS の ⑧ [OPEN] または ⑨ [CLOSE] ボタンを押します。**

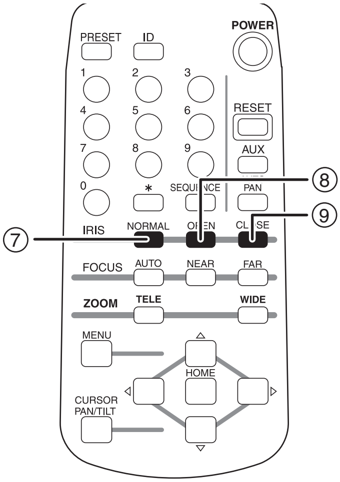
オートアイリス状態のまま、オートアイリスの基準レベルが変化します。

⑧ [OPEN] ボタンを押した場合は、明るくなります。

⑨ [CLOSE] ボタンを押した場合は、暗くなります。

アイリスは、常にオートアイリス状態（被写体が変化しても明るさは一定になる自動調整モード）です。

⑧ [OPEN]、⑨ [CLOSE] ボタンを長押しすることはできません。
連続的に動作させたい場合は、ボタンの押し、離しを繰り返し行います。



2. **⑦ [NORMAL] ボタンを押します。**

オートアイリス状態のまま、標準の明るさに戻ります。

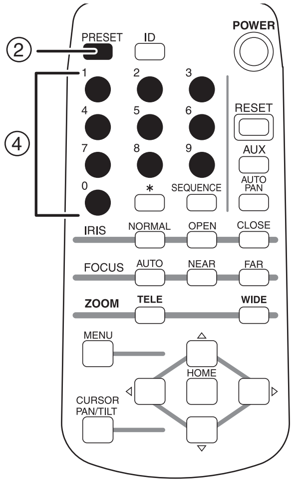
プリセットの操作

カメラヘッドの設定をプリセットに登録することができます。

最大 256 件（番号「0」～「255」)、プリセットに登録することができます。
本体の電源を OFF にしても、登録内容が消えることはありません。
ホームポジションは、登録済みのプリセット番号から任意に選択できます。

参照 OSD（オン・スクリーン・ディスプレイ）による設定（P.31）

プリセットを登録する場合



1. カメラヘッドの向き、ズーム位置、フォーカスの状態、明るさの状態を決めます。

逆光補正、輪郭補正、ホワイトバランスの状態をプリセットしたい場合は、OSD メニューの [CAMERA2] を設定します。

参照 [3] CAMERA2（P.36）

2. ② [PRESET] ボタンを押します。

本体の LED が緑色点滅します。

キャンセルする場合は、もう一度
② [PRESET] ボタンを押します。

3. ④[0]～[9]ボタンを押し、プリセット番号「0」～「255」を入力します。

入力例
セット番号 [1] を入力する場合：
[0][0][1]と入力します。
セット番号 [10] を入力する場合：
[0][1][0]と入力します。
セット番号 [100] を入力する場合：[1][0][0]と入力します。

参考 入力する毎に点滅間隔が短くなります。

4. 本体の LED が消灯します。

プリセット登録が完了します。（すでにプリセット登録がされている場合は、上書きされます。）
登録した番号は OSD の各設定画面で選択可能となります。

プリセットを実行する場合

1. 呼び出したいプリセット番号の④ [0] ～ [9] ボタンを押します。

登録されているカメラヘッドの向き、ズーム位置、フォーカスの状態、明るさの状態、逆光補正状態、輪郭補正状態、ホワイトバランス状態にセットされます。

入力例

セット番号 [1] を入力する場合：[0][0][1] と入力します。

セット番号 [10] を入力する場合：[0][1][0] と入力します。

セット番号 [100] を入力する場合：[1][0][0] と入力します。

注意事項

・実行できるプリセット番号は、プリセット登録が完了している必要があります。
未登録のプリセット番号を実行した場合は、動作が行われません。
（工場出荷状態では、0 ～ 32 のプリセット番号に標準状態が登録済みです。）

外部機器の制御操作

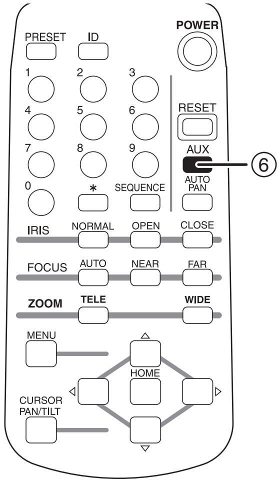
1. アラーム出力〈2〉に外部機器を接続します。

2. OSD メニュー［ALARM］/［ALARM OUT2］の設定を［ON］にします。

3. ⑥[AUX]ボタンを一度だけ押します。

アラーム出力〈2〉からアラーム信号が出力されます。

もう一度、⑥[AUX] ボタンを押すと OFF になります。



オートパンの操作

あらかじめセットされた2点のパン位置を自動的に繰り返す機能です。
OSD（オン・スクリーン・ディスプレイ）で、オートパンに関する設定を行うことができます。

参照 **OSD（オン・スクリーン・ディスプレイ）による設定（P.34 ～ P.43）**

オートパンを開始する場合

1. オートパンが停止している状態で、⑲ [AUTO PAN] ボタンを押します。

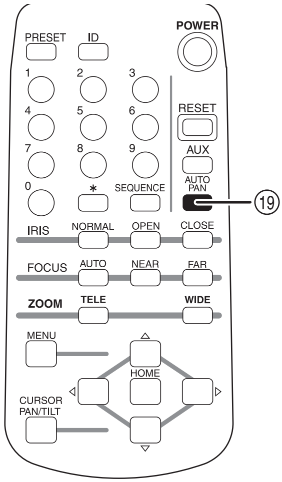
OSD で設定されている状態に従って、オートパン動作を開始します。

注意事項

・OSD 設定がされていないと [AUTO PAN] ボタンを押しても動作しません。

参考 オートリターン機能を設定することにより、自動的にオートパンを開始させることができます。

参照 **OSD（オン・スクリーン・ディスプレイ）による設定（P.34 ～ P.43）**



オートパンを停止する場合

1. オートパンが動作している状態で、⑲ [AUTO PAN] ボタンを押します。

オートパン動作を停止します。

また、オートパン以外の動作を実行した場合も、オートパン動作を停止することができます。

シーケンシャル移動の操作

最大 32 ポイントのプリセット位置を順次読み出し、実行する機能です。
最大 4 パターンのシーケンシャル動作が可能です。
OSD（オン・スクリーン・ディスプレイ）で、シーケンシャル移動に関する設定を行うことができます。

参照 **OSD（オン・スクリーン・ディスプレイ）による設定（P.31）**

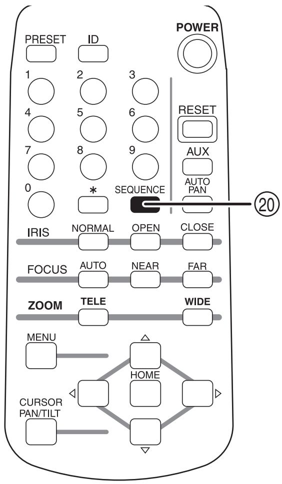
シーケンシャル移動を開始する場合

1. シーケンシャル移動が停止している状態で、⑳ [SEQUENCE] ボタンを押します。
OSD で設定されている状態に従って、シーケンシャル移動を開始します。

注意事項
・OSD 設定がされていないと [SEQUENCE] ボタンを押しても動作しません。

参考 オートリターン機能を設定することにより、自動的にシーケンシャル移動を開始させることができます。

参照 **OSD（オン・スクリーン・ディスプレイ）による設定（P.34 ～ P.43）**



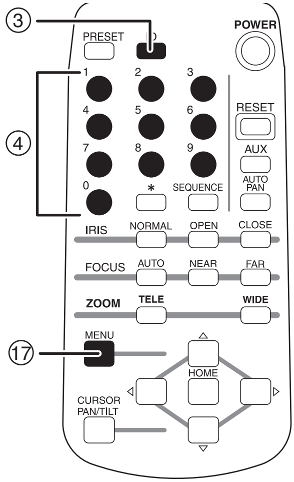
シーケンシャル移動を停止する場合

1. シーケンシャル移動が動作している状態で、⑳ [SEQUENCE] ボタンを押します。
シーケンシャル移動を停止します。

本機の設定

ID 番号（REMOTE ID）の設定

ID 番号を設定する場合



1. ID 番号を設定するカメラのみ、電源を ON にします。

2. 設定をしないカメラは、AC アダプタをコンセントから取り外します。
電源を OFF にします。

3. 本体のREMOTE ID番号を設定します。
OSD にて設定を行ってください。

参照 **OSD（オン・スクリーン・ディスプレイ）による設定（P.34 ～ P.43）**

4. ⑰ [MENU] ボタンを押します。
通常の画面に戻ります。

5. 手順 3、4 を繰り返します。
すべてのカメラに ID 番号を設定します。

カメラの個別操作を設定する場合

1. ③ [ID] ボタンを押します。
隣接するすべてのカメラの LED（発光素子）が点滅を始めます。
キャンセルする場合は、再度③「ID」ボタンを押します。

2. ④ [1] ～ [9] ボタンを押します。
ID 番号による個別操作可能なカメラの LED が消灯します。
オレンジ色の LED が点灯しているカメラは操作できません。

カメラの個別操作を解除する場合

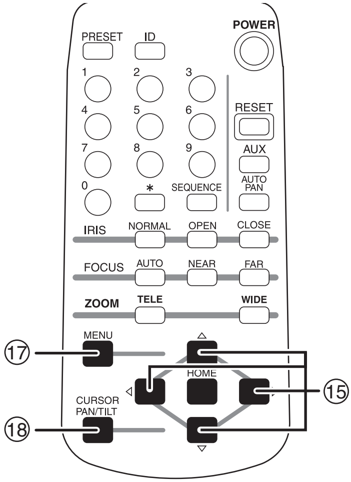
1. ③ [ID] ボタンを 2 秒以上押し続けます。
本体の LED が、点滅から点灯に変わります。

2. [ID] ボタンを離します。
個別操作が解除されます。

注意事項
・電源を入れなおした場合にも、個別操作は解除されます。

OSD(オン・スクリーン・ディスプレイ)による設定

ID 番号の設定やカメラの個別操作などを OSD で設定することができます。
以下の手順は、設定時のボタン操作です。
設定内容については、下表「OSD メニュー」を参照してください。



1. ⑰ [MENU] ボタン

OSD メニューを表示、非表示します。

階層メニューを表示している場合は、⑰ [MENU] ボタンを押すと一つ前の画面に戻ります。

2. ⑮ ▲▼◀▶ ボタン、⑯[HOME]ボタン

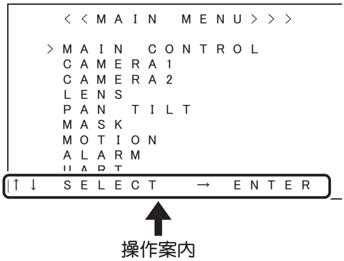
項目の選択、設定を行います。

3. ⑱ [CURSOR PAN/TILT] ボタン

メニュー操作を一時中断し、パン・チルト動作を行います。

再び元のメニュー操作に戻る場合は、再度⑱[CURSOR PAN/TILT]ボタンを押します。

> **注意事項**
> ・OSD画面の下側に操作案内が表示されます。(右図参照)
> 案内を参考にし、操作を行ってください。



OSD 設定のクリア

1. <<MAIN MENU>> の [CLEAR] にカーソルを合わせ、⑱ [CURSOR PAN/TILT] ボタンを長押しします。

確認画面が表示されます。

2. 「Yes」を選択し、[HOME] を押します。

「FINISHED」が表示されたら電源を再投入します。

OSD 設定を工場出荷状態へクリアします。

< クリアされる設定 >

[MAIN CONTROL]、[CAMERA 1]、[LENS]、[PAN TILT]、[MASK]、[MOTION]、[ALARM]

< クリアされない設定 >

[CAMERA2](プリセットの情報)、[UART]

参考 各種モードの設定(P.48)

画面遷移図

MAIN MENU

```
<<MAIN MENU>>>

>MAIN CONTROL
 CAMERA1
 CAMERA2
 LENS
 PAN TILT
 MASK
 MOTION
 ALARM
 UART
↑↓ SELECT → ENTER
```

[1] MAIN CONTROL

```
<<MAIN CONTROL>>

>TITLE                 OFF
  SELECT            CAMERA
 TITLE SET          CAMERA
 INDICATE              OFF
 REMOTE ID             OFF
 OFF TIME              OFF
 HOME POSITION    PRESET0
 CLEANING              OFF

↑↓ SELECT ←→ ADJUST
```

```
<<TITLE SET>>

ABCDEFGHIJKLM        SPACE
NOPQRSTUVWXYZ        BACK
0123456789?!@        NEXT
↑↓→←()<>[]【】/        RESET
=+−x÷/*%$&#;:        MEMORY

.............

↑↓←→ SELECT    PUSH HOME
```

[2] CAMERA1

```
<<CAMERA1>>

>HS-SHUTTER            OFF
 LS-SHUTTER            OFF
  LS-MAX           4fields
  PRIORITY          MOTION
 ICR                   OFF
  AUTO LEVEL             5
  WAVELENGTH        NORMAL
 AGC MAX               8dB

↑↓ SELECT ←→ ADJUST
```

[3] CAMERA2

```
<<CAMERA2>>

>BLC                   OFF
  AREA               AREA4
  WD LEVEL          MIDDLE
 AP GAIN                 0
 WB MODE               ATW
  MWB-R                  0
  MWB-B                  0

↑↓ SELECT ←→ ADJUST
```

[4] LENS

```
<<LENS>>

>E-ZOOM MAX            OFF
 ZOOM SPEED           AUTO
 MF SPEED             AUTO
 NEAR LIMIT             1m
 AF SENSITIVE       NORMAL
 AF MODE            NORMAL
  ACTIVE                5s
  INTERVAL              5s
 AE SENSITIVE            1
↑↓ SELECT ←→ ADJUST
```

[5] PAN TILT

```
<<PAN TILT>>

>MOTOR SPEED        AUTO
 DOME COVER          OFF
 PRESET STILL        OFF
 FLIP ANGLE       120deg
 INSTALLATION    CEILING
 AUTO RETURN         OFF
 RETURN TIME         OFF
 AUTO PAN          SETUP
 SEQUENCE          SETUP
↑↓ SELECT    ←→ ADJUST
```

```
<<AUTO PAN>>

>START SET         SETUP
 END SET           SETUP
 DIRECTION          LEFT
 SPEED                 1
 STOP TIME            2s

↑↓ SELECT    ←→ ADJUST
```

```
<<SEQUENCE>>

>SEQUENCE LINE         1
 SEQUENCE No           1
 ENABLE              OFF
 PRESET No             0
  SPEED                8
  STOP TIME           3s
 CLEAR

↑↓ SELECT    ←→ ADJUST
```

[6] MASK

```
<<MASKING>>

>MASK                OFF
  AREA No              1
  DISPLAY            OFF
   MASK SET

↑↓ SELECT    ←→ ADJUST
```

```
<<MASK10 SIZE>>

 SIZE              SETUP
 LOCATION          SETUP
 SAVE
 CANCEL
 CLEAR

↑↓SELECT ←→ADJUST
```

[7] MOTION

```
<<MOTION DETECTION>>

>PRESET No           OFF
 ALARM OUT           OFF
  SENCITIVE           15
  INTERVAL           30s
  AREA SET         SETUP
  DEMO

↑↓ SELECT    ←→ ADJUST
```

[8] ALARM

```
<<ALARM>>

>ALARM IN              1
  PRESET No            1
 ALARM LOCK          OFF
 ALARM OUT           OFF
  MODE          ALARM IN
  OUT TIME          0.1s
  RS485              OFF
 ALARM OUT2          OFF

↑↓ SELECT    ←→ ADJUST
```

[9] UART

```
<<UART>>

>PROTOCOL          MODE1
  CAMERA ID            1
  TERMINAL           OFF
  BAUD RATE         9600
  WAIT TIME          5ms

↑↓ SELECT    ←→ ADJUST
```

本機の設定

OSD メニュー

[1] MAIN CONTROL

名 称			機 能 説 明	工場出荷設定
1	TITLE		画面下のキャラクタ表示を［ON/OFF］できます。	OFF
		SELECT	キャラクタ表示をするタイトル［CAMERA/PRESET］が選択できます。 （上記［TITLE］が［ON］の場合のみ有効になります） [PRESET]：0～255のプリセットポジションの名称 [CAMERA]：カメラ本体の名称	CAMERA
		TITLE SET	⑯[HOME]を押すと《TITLE SET》画面が表示されます。 [SELECT]が[PRESET]の場合は、◀▶ ボタンでプリセット番号を選択し、[HOME]を押します。 ▶ ボタンを押し、設定キャラクタへ移動します。 ▲▼ ボタンで文字を変え、◀▶ ボタンを押し文字間の移動をします。1文字ずつ設定し、最大12文字まで設定できます。設定後、[MEMORY]を選択し、⑯[HOME]ボタンで保存します。	CAMERA
2	INDICATE		プリセットポジション登録時の画面表示が［ON/OFF］できます。 登録したプリセットポジションの番号が数秒間画面に表示されます。	OFF
3	REMOTE ID		リモコンによる個別操作用カメラ本体のID番号［1］～［9］が設定できます。ID番号を設定しない場合は［OFF］とします。 一台のリモコンで、最大9台のカメラを個別操作できます。	OFF
4	OFF TIME		低消費電力モードの時間を［OFF］、［5min］、［10min］、［30min］、［1h］、［2h］、［3h］、［4h］から設定できます。 操作されない状態で設定時間が経過すると、自動的にカメラ電源がOFFになります。 （リモコンの①[POWER]ボタンを押すと再び電源がONになります。）	OFF
5	HOME POSITION		ホームポジションを任意のプリセット番号から設定できます。	PRESET 0
6	CLEANING		スリップリングの接点不良を防止するのためのクリーニング動作の実行を［OFF/1DAY/1WEEK］から設定できます。 1WEEK：一週間毎にクリーニング動作を1回行います。 1DAY：一日毎にクリーニング動作を1回行います。	OFF

[2] CAMERA1				
名　称			機　能　説　明	工場出荷設定
1	HS-SHUTTER		高速シャッタのスピード[OFF（1/60s）]、[1/100s]、[1/250s]、[1/500s]、[1/1000s]、[1/2000s]、[1/4000s]、[1/10000s]、[1/20000s]、[1/50000s]から選択できます。 [LS-SHUTTER]が［ON]の場合は[1/60s]、[1/100s]のみ選択できます。 [BLC]が［WD]になった場合も［1/60s]、[1/100s]のみ選択できます。 ［OFF（1/60s）]の設定で、蛍光灯などのチラツキが気になる場合は、[1/100s]に設定すると軽減します。	OFF
2	LS-SHUTTER		低速シャッタ（電子感度アップ）を[ON/OFF]できます。被写体が暗くなった場合、設定された最大値まで自動的に CCD の蓄積時間を数フィールドにわたって変化させ、被写体の明るさを最適化します。	OFF
		LS-MAX	低速シャッタの最大フィールド数[2fields]、[3fields］、[4fields]、[5fields]、[6fields]、[8fields]、[12fields]、[20fields]、[40fields]、[80fields]が設定できます。 CCDの蓄積時間を長くすると、画像のフレームレートが落ち、動く被写体が見づらくなることがあります。	4fields
		PRIORITY	[LS-SHUTTER]を選択していて、被写体が暗くなった場合に優先すべき画像の性質[MOTION（動き）]、[COLOR（色彩）]、[S/N（精細度）]を選択できます。	MOTION
3	ICR （IR Cut Filter Removable）		赤外カットフィルタ脱着機能を［OFF]、[AUTO]、[ON]から設定できます。 ［AUTO］では明るさに応じて自動的にフィルタを脱着します。赤外カットフィルタが外された状態では、画像は白黒に切換わります。	OFF
		AUTO LEVEL	白黒からカラーに切換わるタイミングを［1]～[16］から選択できます。 とくに赤外照明が強い場合は、ハンティング防止のため、数値を上げて使用してください。	7
		WAVELENGTH	赤外波長に対するフォーカス補正を選択します。 NORMAL：可視光（補正なし） 850nm：赤外光（850nm付近）で補正します。 950nm：赤外光（950nm付近）で補正します。	NORMAL
4	AGC MAX		AGC の最大ゲインを［0dB]、[4dB]、[8dB]、[12dB]、［16dB]、[20dB]、[24dB］から設定できます。 AGCは、被写体が暗くなった場合、CCDからの信号を増幅して被写体を見えるようにする機能です。	8dB

[3] CAMERA2

名称			機能説明	工場出荷設定
1	BLC （Back Light Compensation）		逆光補正機能のモード［OFF]、[AREA]、[HIST]、[WD]が選択できます。 [OFF]に設定した場合、逆光補正機能をOFFします。 [AREA]に設定した場合、適正な明るさが必要な被写体の画像エリアを選択し、選択されたエリアにより重み付けをします。 [HIST]に設定した場合、エリアにとらわれずに画像のなかで暗い（黒くつぶれている）部分を見えるようにします。 [WD]に設定した場合、画面全体を鮮明に見えるようにします。	OFF
		AREA	逆光補正機能が動作する画像上のエリア[0～4]を選択できます。 AREA0 AREA3 AREA4 AREA2 AREA 1	AREA4
		WD LEVEL	ワイドダイナミック効果の調整ができます。 [LOW]、[MIDDLE]、[HIGH]の３段階から選択できます。	MIDDLE
2	AP GAIN		輪郭補正レベル［－６～9］を選択できます。	0
3	WB MODE		ホワイトバランスの設定モード［ATW]、[AWC]、[INDOOR]、[OUTDOOR]、[FL-LIGHT]、[MWB］が選択できます。 [ATW]は、ホワイトバランスを常時自動追尾で合わせます。画像全体が単一色の場合は、ホワイトバランスが合いにくいことがあります。 [AWC]は、ホワイトバランスをワンプッシュで合わせます。[AWC]を選択し、⑯［HOME]ボタンを押すと自動的にホワイトバランスを合わせます。調整は数秒で終了し、調整値は固定されます。 [INDOOR]は、室内で使用する場合に選択します。色温度は3200Kで想定されています。 [OUTDOOR]は、屋外で使用する場合に選択します。色温度は6300Kで想定されています。 [FL-LIGHT]は、蛍光灯照明にて使用する場合に選択します。色温度は4200Kで想定されています。 [MWB]は、色の傾向を好みで変えることができます。	ATW
		MWB-R	[MWB］を選択した場合は、赤色の傾向［－30～＋30］が設定できます。	0
		MWB-B	[MWB］を選択した場合は、青色の傾向［－30～＋30］が設定できます。	0

注意事項

・[CAMERA2］の設定はプリセット専用です。変更した設定を記憶させたい場合は、必ずプリセット登録を行ってください。

参照 プリセットの操作（P.25）

[4] LENS

名 称		機 能 説 明	工場出荷設定
1	E-ZOOM MAX	電子ズームの最大倍率［OFF］、［× 1.5 ～× 16］が設定できます。 リモコンのZOOM⑬[TELE]ボタンを押し続けると、光学32 倍ズームが終了した地点から自動的に電子ズーム領域へ入ります。	OFF
2	ZOOM SPEED	ズーミング動作スピードの設定を［AUTO］、［1(slow) ～ 8(fast)］から選択できます。 ［AUTO］は動作スピードが自動的に可変します。 ［1(slow) ～ 8(fast)］を選択すると任意の動作スピードで固定します。	AUTO
3	MF SPEED	マニュアルフォーカス時のフォーカシング動作スピードの設定を［AUTO］、［ 1(slow) ～ 8(fast)］から選択できます。 ［AUTO］は動作スピードが自動的に可変します。 ［1(slow) ～ 8(fast)］を選択すると任意の動作スピードで固定します。	AUTO
4	NEAR LIMIT	フォーカスレンズのNEAR側への移動制限設定［0.2m～INF］を選択できます。 近くの被写体にピントが合って欲しくない場合に設定を変更します。	1m
5	AF SENSITIVE	オートフォーカスの応答性の設定［NORMAL]、[LOW]を選択できます。	NORMAL
6	AF MODE	リモコンの⑩[AUTO]を押したときの動作設定を[NORMAL]、[INTERVAL]、[TRIGGER]、[ONE PUSH]から選択できます。 [NORMAL]の場合は、常時オートフォーカスが動作します。 [INTERVAL]の場合は、[ACTIVE TIME］で設定した時間オートフォーカスが動作し、[INTERVAL TIME］で設定した時間オートフォーカスが停止します。 [TRIGGER]の場合は、パン／チルト / ズーム動作をすると、オートフォーカスが動作し、[ACTIVE］で設定した時間経過すると動作を停止します。 [ONE PUSH]の場合は、リモコンのFOCUS［AUTO］ボタンを押すと、オートフォーカスが動作し、[ACTIVE TIME]で設定した時間経過すると動作を停止します。	NORMAL
	ACTIVE	[AF MODE]が[INTERVAL]、[TRIGGER]、[ONE PUSH]に設定されている時のオートフォーカス動作時間[1s ～ 255s]が選択できます。	5s
	INTERVAL	[AF MODE]が[INTERVAL]に設定されている時のオートフォーカス停止時間[1s ～ 255s]が選択できます。	5s
7	AE SENSITIVE	明るさ自動調整の応答速度を[1(高速)～32(低速)]から設定します。 明るさの変化が激しい時には数値を高く設定してください。	1

[5] PAN TILT			
名　称		機　能　説　明	工場出荷設定
1	MOTOR SPEED	パン・チルト動作時のモータスピード設定を［AUTO］、［1(slow) ～ 8(fast)］から選択できます。 ［AUTO］を選択すると、ズーム位置により動作スピードが自動的に変わります。 ［0(slow) ～ 8(fast)］を選択すると、任意の動作スピードを選択できます。	AUTO
2	DOME COVER	付属のドームカバーを装着する場合は［ON］に設定します。ドームカバーに応じて、チルト動作範囲を制限します。 ドームカバー装着時以外は［OFF］に設定します。	OFF
3	PRESET STILL	［ON］にすると、プリセットポジション間の移動時に、画像が移動前の静止画になります。 ホームポジションを含むプリセットポジション間の移動操作はできますが、パン・チルト・ズーム操作はできません。ホームポジションと設定されたプリセットポジション以外の画像を隠す場合に有効です。ただし、リモコンの⑤[RESET]ボタンまたは⑲[AUTO PAN]を押した場合、静止画になりません。（［ON/OFF］を設定します。）	OFF
4	FLIP ANGLE	チルト動作の回転角度90°（カメラが真下を向いた状態）を越えた場合は、画像の天地が逆転します。 そのような場合には、カメラが自動的に画像の上下左右を反転します。 画像が反転する角度を［OFF］、[100deg]、[110deg]、[120deg]、[130deg]、[140deg]、[150deg]、[160deg]、[170deg]、[180deg]から選択できます。 画像を反転させない場合は［OFF］に設定します。	120deg
5	INSTALLATION	本体の取り付け状態[CEILING]、[DESKTOP]を選択します。 天吊りで使用する場合は[CEILING]を選択します。 卓上等で使用する場合は[DESKTOP]を選択します。	CEILING
6	AUTO RETURN	パン・チルト・ズーム動作後、何も操作されない状態で設定時間（RETURN TIMEの設定時間）が経過したとき、自動復帰する状態［OFF］、[HOME]、[AUTO PAN]、[SEQUENCE1]、[SEQUENCE2]、[SEQUENCE3]、[SEQUENCE4］が設定できます。	OFF
	RETURN TIME	AUTO RETURNの設定時間[OFF]、[1min]、[2min]、[3min]、[5min]、[10min]、[20min]、[30min]、[60min]が変更できます。	OFF

本機の設定

[5] PAN TILT					
名称				機能説明	工場出荷設定
7	AUTO PAN			カーソルが[AUTO PAN]にあるときに ▶ ボタンを押すと、オートパン設定画面が表示されます。	—
		START SET		カーソルが[START SET]にあるときに ▶ ボタンを押すと、START SET設定画面が表示され、オートパンの開始位置状態を設定できます。 START SET 設定画面にて、所望のパン／チルト位置、ズーム画角に調整して、[HOME]ボタンを押すと、オートパンの開始位置状態が設定されます。	—
		END SET		カーソルが[END SET]にあるときに ▶ ボタンを押すと、END SET設定画面が表示され、オートパンの終了位置状態を設定できます。 この画面で設定できるのはパン位置のみです。チルト位置またはズーム画角は、[START SET]で設定した情報が引き継がれます。 END SET設定画面にて、所望のパン位置に調整して、[HOME]ボタンを押すと、オートパンの終了位置状態が設定されます。	—
		DIRECTION		オートパン動作の向き（開始位置から終了位置への向き）を[LEFT/RIGHT]から設定します。	LEFT
		SPEED		オートパンの動作スピード[1(slow) ～ 8(fast)]が選択できます。	1
		STOP TIME		オートパンの滞在時間（START/END位置に滞在する時間を[1s]、[2s]、[3s]、[5s]、[10s]、[20s]、[30s]から選択できます。	2s
8	SEQUENCE			カーソルが[SEQUENCE]にあるときに ▶ ボタンを押すと、シーケンシャル動作設定画面が表示されます。	—
		SEQUENCE LINE		記憶するシーケンシャル動作パターンを[1 ～ 4]から選択できます。また、リモコンの⑳[SEQUENCE]ボタンを押したとき、選択した任意の動作パターンを実行します。	1
		SEQUENCE No		選択した動作パターンの遷移ポイントを[1 ～ 32]から選択します。	1
		ENABLE		選択した遷移ポイントの無効／有効[OFF]、[ON]を選択できます。OFF設定のポイントは飛ばされます。	OFF
			PRESET No	選択した遷移ポイントの位置情報をプリセット番号[0 ～ 255]から選択します。 ※プリセット登録されている番号のみ選択できます。 工場出荷状態では、PRESET0 ～ PRESET32に初期値が記憶されており、選択可能です。	PRESET0～PRESET32
			SPEED	選択した遷移ポイントに移動するスピードを[1(slow) ～ 8(fast)]から選択します。	8
			STOP TIME	選択した遷移ポイントで停止する時間を[2s]、[3s]、[5s]、[10s]、[30s]、[1min]、[2min]、[3min]、[4min]、[5min]から選択します。	3s

[6] MASK			
名　称		機　能　説　明	工場出荷設定
1	MASK	マスキング機能の［ON/OFF］が選択できます。 撮影される画像のなかに隠したい部分がある場合は、該当部分にマスクを施すことができます。 エリアデータを設定後、［OFF］を選択した場合は、マスクの表示が消えても、エリアデータは消えません。	OFF
	AREA No	設定するエリアを［AREA1～10］から選択します。	1
	DISPLAY	設定したエリア［AREA1～10］のマスク表示を個別に［ON/OFF］できます。	OFF
	MASK SET	カーソルが[MASK SET]にあるときに ▶ ボタンを押すと、設定したエリア［AREA1～10］のマスク設定画面が表示されます。	—
	SIZE	マスクのサイズを設定します。矢印ボタンで大きさを変化させ、最後に HOME ボタンを押します。	—
	LOCATION	［LOCATION］設定画面で、⑮ ▲▼◀▶ ボタンで位置を⑬[TELE]、⑭[WIDE]ボタンでズーム位置を移動し、⑯[HOME]ボタンを押してマスクの位置を設定します。	—
	SAVE	カーソルが[SAVE]にあるときに ⑯[HOME]ボタンを押すと、マスク（位置・サイズ）が保存され、有効となります。チルトの回転角度が45°～135°（真下を向いた状態から±45°以内）にあるときは保存できません。	—
	CANCEL	カーソルが[CANCEL]にあるときに ⑯[HOME]ボタンを押すと、［SAVE］されていないマスクは無効になり、マスク設定前の画像になります。	—
	CLEAR	カーソルが[CLEAR]にある時に⑯[HOME]ボタンを押すと、表示されているマスクは消え、マスク設定なしの画像になります。	—

注意事項

・マスキング機能は、ズーム位置やカメラの向きによって隠しておきたい部品が見えてしまう場合があります。マスキングエリアの設定は、レンズポジションを WIDE 側で行うなどできるだけ大きくしてご使用ください。また、絶対的なものではないため、非公開情報をこの機能で隠すことは避けてください。

[7] MOTION				
名　称			機　能　説　明	工場出荷設定
1	PRESET No		動体検出を行うプリセット番号を [PRESET 1] ～ [PRESET 16]から選択します。	OFF
2	ALARM OUT		設定した動体検出の検出位置番号エリア内で、動体を検出した場合の動作有無［ON]、[OFF］を選択します。	OFF
		SENCITIVE	設定した検出位置番号エリア内の動体検出の感度［1(高感度）～ 16(低感度)］を選択します。	7
		INTERVAL	設定した検出位置番号エリア内の動体検出の間欠時間［2s]、[5s]、[10s]、[30s］を選択します。	2s
		AREA SET	カーソルが[AREA SET]にあるときに ▶ ボタンを押すと、検出エリアの設定画面が表示されます。 ⑮ ▲▼◀▶ ボタンで動体検出の有効 / 無効エリア(横 12×縦8 = 96エリア)を調整し、⑯[HOME]ボタンを押します。 ※反転しているエリアが無効エリアを示します。	有　効 エリア
		DEMO	カーソルがこの位置にある時に ▶ ボタンを押すと、設定した検出位置番号の動体検出確認用画面が表示されます。画面を見ながら、実際の動体検出の設定確認ができます。	–

注意事項

・モーションディテクタ機能は、低照度下や被写体の照度が急激に変化する場合など誤検出する場合があります。
また、専用の防犯装置ではありませんので、万一発生した事故や損害に対する責任は一切負いかねます。

[8] ALARM				
名　称			機　能　説　明	工場出荷設定
1	ALARM IN		アラーム入力端子番号［1 ～ 8］を選択します。	1
		PRESET No	選択したアラーム入力端子［1 ～ 8］にアラーム入力が入った場合に、移動するプリセットポジション［0 ～ 255］を選択します。	PRESET1～ PRESET8
2	ALARM LOCK		入力が入っている間、ほかの操作を禁止するアラーム入力端子［OFF］、［1 ～ 8］が選択できます。	OFF
3	ALARM OUT		アラーム出力端子 1 への出力動作の有無［ON］、［OFF］を選択します。	OFF
		MODE	アラーム出力端子 1 への出力トリガ［ALARM IN］、［MOTION］、［BOTH］を選択します。 ［ALARM IN］は、ALARM IN で選択したアラーム入力端子［1 ～ 8］にアラーム入力が入り、［PRESET No］で設定したプリセットポジションへ移動動作が完了した場合に、アラーム出力端子 1 にアラーム出力します。 ［MOTION］は、動体検出をした場合に、アラーム出力端子 1 にアラーム出力します。この設定は、動体検出設定の［ALARM OUT］が［ON］に設定されていないと動作しません。 ［BOTH］は、ALARM IN で選択したアラーム入力端子［1 ～ 8］にアラーム入力が入り、プリセット移動動作が完了した場合、または動体検出をした場合に、アラーム出力端子 1 にアラーム出力します。動体検出の設定は、動体検出設定の［ALARM OUT］が［ON］に設定されていないと動作しません。	ALARM IN
		OUT TIME	アラーム出力端子 1 から出力する信号の時間［0.1s］、［0.2s］、［1s］、［2s］、［4s］が選択できます。	0.1s
		RS-485	RS-485 からのアラーム出力コマンド送信有無［ON］、［OFF］を選択します。 ［ON］に設定すると、アラーム出力端子 1 と同時に出力されます。この設定は、UART のプロトコルが［MODE1］の場合にのみ有効です。 この動作を［ON］すると、RS-485 のコマンド衝突の可能性がありますので、ご使用の際は、お買い上げの販売店か最寄りの弊社支店・営業所までご相談ください。	OFF
4	ALARM OUT2		リモコンの AUX ボタンによるアラーム出力有効／無効［ON］、［OFF］の設定をします。有効［ON］に設定すると、リモコンの AUX ボタンを（一度）押すとアラーム出力端子 2 からアラーム信号が出力され、もう一度押すと OFF になります。	OFF

[9] UART				
名　称			機　能　説　明	工場出荷設定
1	PROTOCOL		UARTによる制御プロトコル[DIP SW]、[MODE1]、[MODE2]を選択します。 [DIP SW]を選択した場合、本体底面のディップスイッチ2の③、④ピンでの設定が優先されます。 制御プロトコルに関する詳細は、お買い上げの販売店か最寄りの弊社支店・営業所までお問い合わせください。	MODE1
		CAMERA ID	UART通信上のIDアドレスを設定します。 プロトコルによって、最大アドレスが異なります。 MODE1のIDアドレスは［1～223］です。最大223台のカメラが個別にコントロールできます。 MODE2のIDアドレスは［0～255］です。	1
		TERMINATE	カメラ本体に内蔵されている終端抵抗の設定が[ON/OFF]できます。 UARTインターフェース上に接続される通信機器において、最も長い経路となる両端の機器には、信号減衰防止のための終端抵抗をつける必要があります。	OFF
		BAUD RATE	UART通信でのボーレートを設定します。 MODE1のとき：[2400]、[4800]、[9600] MODE2のとき：[2400]、[4800]、[9600]、[19200]、[38400]	MODE1:9600 MODE2:2400
		WAIT TIME	UARTプロトコルがMODE1の場合に、本機がデータを受信してから、応答データを送信するまでの最小待ち時間［1ms]、[2ms]、[3ms]、[4ms]、[5ms]を選択します。	5ms

アラーム入・出力の設定

アラーム入力

1. アラーム入力〈1〉～〈8〉の端子を GND とショートさせます。
2. OSD で設定した任意のプリセットポジションへ移動します。

   参照 [8] ALARM（P.42）

   参照 入力時のロックモード（P.42）

アラーム出力

1. アラーム出力 <1>

   アラーム入力やモーションディテクタ機能など、カメラが異常を検知した場合、外部機器へアラーム出力 <1> より信号を出力します。

   （オープンコレクタ出力　最大 12V 30mA）

   参照「ALARM OUT1」（P.42）

2. アラーム出力 <2>

   リモコンの [AUX] ボタンに合わせて、外部機器へアラーム出力 <2> より信号を出力します。

   （オープンコレクタ出力　最大 12V 30mA）

   参照「ALARM OUT2」（P.42）

アラーム入力端子（10P コネクタ）

ピン番号	コード色	端子名	信号方式
①	黒	ALARM IN1	無電圧メイク接点
②	白	ALARM IN2	無電圧メイク接点
③	青	ALARM IN3	無電圧メイク接点
④	紫	ALARM IN4	無電圧メイク接点
⑤	灰	GND	GND
⑥	桃	ALARM IN5	無電圧メイク接点
⑦	黄土色	ALARM IN6	無電圧メイク接点
⑧	白/黒	ALARM IN7	無電圧メイク接点
⑨	灰/黒	ALARM IN8	無電圧メイク接点
⑩	橙/黒	GND	GND

アラーム出力端子（3P コネクタ）

ピン番号	コード色	端子名	信号方式
①	薄紫	ALARM OUT1	オープンコレクタ出力
②	薄青	ALARM OUT2	オープンコレクタ出力
③	薄緑	GND	GND

注意事項

・外部機器に接続する場合は、定格範囲内で使用してください。

RS-485 の設定

5P コネクタ（白）の RS-485/RS-422 端子を、RS-485 制御機器に配線・接続し、制御することができます。
RS-485 通信上の ID アドレスを各カメラに設定し、最大 223 台のカメラを 1 台のパソコンまたはコントローラで操作することができます。信頼性を確保するためにはDATA(＋)、DATA(－)をシールド付ツイストペア線で接続してください。
カメラ本体または制御機器を保護するため、接続するときは必ずすべての機器の電源を OFF にしてください。

通信仕様

通信方式：調歩同期式半二重
通信速度：2400bps/4800bps/9600bps　切換え可能
スタートビット：1 ビット
ストップビット：1 ビット
パリティービット：なし

ピン配列

ピン番号	コード色	機能
①	茶	DATA(＋)
②	赤	DATA(－)
③	橙	未接続
④	黄	未接続
⑤	緑	GND

終端抵抗を設定する

信号の減衰防止のため、RS-485 インターフェース上に接続される通信機器で、最も長い経路になる両端の機器には終端抵抗をつける必要があります。

1. OSD メニューの [UART MENU]、[TERMINATE] を設定します。
カメラに内蔵されている終端抵抗の設定を [ON] にします。

参照 UART（P.43）

ID アドレスを設定する

1. OSD メニューの [UART MENU]、[CAMERA ID] を設定します。
RS-485 通信上の ID アドレスを [1] ～ [223] から設定します。

参照 CAMERA ID（P.43）

データフォーマット仕様またはコマンド一覧表は、販売店にお問い合わせください。

本機の設定

RS-422 の設定

5P コネクタ（白）の RS-485/RS-422 端子を、RS-422 制御機器に配線・接続し、制御することができます。
RS-422 通信上の ID アドレスを各カメラに設定し、パソコンまたはコントローラで操作することができます。信頼性を確保するためにはDATA OUT(＋)とDATA OUT(－)、DATA IN(＋)とDATA IN(－)をシールド付ツイストペア線で接続してください。
カメラ本体または制御機器を保護するため、接続するときは必ずすべての機器の電源を OFF にしてください。

通信仕様

通信方式：調歩同期式全二重
通信速度：2400bps/4800bps/9600bps/19200bps
/38400bps　切換え可能
スタートビット：1 ビット
ストップビット：1 ビット
パリティービット：なし

ピン配列

ピン番号	コード色	機能
①	茶	DATA OUT(＋)
②	赤	DATA OUT(－)
③	橙	DATA IN(＋)
④	黄	DATA IN(－)
⑤	緑	GND

終端抵抗を設定する

信号の減衰防止のため、RS-422 インターフェース上に接続される通信機器には終端抵抗をつける必要があります。

1. OSD メニューの [UART MENU]、[TERMINATE] を設定します。
カメラに内蔵されている終端抵抗の設定を [ON] にします。

参照 UART（P.43）

ID アドレスを設定する

1. OSD メニューの [UART MENU]、[CAMERA ID] を設定します。
RS-422 通信上の ID アドレスを [0] ～ [255] から設定します。

参照 CAMERA ID（P.43）

データフォーマット仕様またはコマンド一覧表は、販売店にお問い合わせください。

各種モードの設定

本機底面にあるディップスイッチを ON、OFF 切換えすると、下記モードへの設定が可能となります。

注意事項
・未使用のスイッチは必ず OFF の状態にしておいてください。

UART プロトコルを選択する場合

1. ディップスイッチ 2 の 4 ピンの ON、OFF を切換えます。

UART プロトコルの選択ができます。
ディップスイッチ 2 の表（P.49）を参考にし、ディップスイッチを設定して電源を投入してください。

注意事項
・OSD（オン・スクリーン・ディスプレイ）の [UART MENU]、[PROTOCOL] 設定が、ディップスイッチになっている場合のみ、ここでの設定が有効となります。

設定を初期化する場合

1. ディップスイッチ 1 の 3 ピンを [ON] にして電源を投入します。

パン・チルトの設定、レンズの設定、プリセット設定、OSD によるカメラの設定がすべて工場出荷設定に戻ります。

2. 本機を初期化します。

初期化動作終了後、モニタに「CLEAR」が点滅表示します。

3. 「CLEAR」表示の消灯を確認し、本機の電源を [OFF] にします。

4. ディップスイッチを [OFF] にします。

注意事項
・設定の初期化後は、ディップスイッチを必ず [OFF] にしてください。
[ON] にしたままの場合は、電源を投入する度に設定が初期化され、各設定が記憶されません。

ピン配列

ディップスイッチ 1

ピン番号	通常	操作	機能
1	OFF	OFFのまま	―
2	OFF	OFFのまま	―
3	OFF	ON→OFF	設定の初期化
4	OFF	OFFのまま	―

ディップスイッチ 2

ピン番号	通常	操作	機能
1	OFF	OFFのまま	―
2	OFF	OFFのまま	―
3	OFF	OFFのまま	UARTプロトコル選択 1（下表参照）
4	OFF	OFFまたはON	UARTプロトコル選択2（下表参照）

UART プロトコル選択

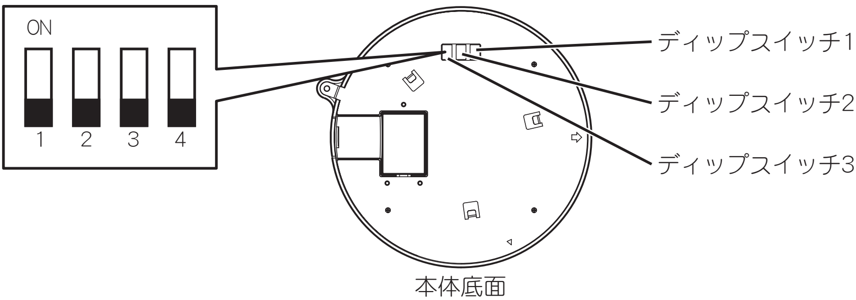
	3 ピン	4 ピン
MODE1(RS-485)	OFF	OFF
MODE2(RS-422)	OFF	ON

※左記以外の組み合わせは禁止です。

ディップスイッチ 3

ピン番号	通常	操作	機能
1	OFF	OFFのまま	―
2	OFF	OFFのまま	―
3	OFF	OFFのまま	―
4	OFF	OFFのまま	―

ディップスイッチ



注意事項

・ディップスイッチ 1および 3の空きピンは調整用のモードに割当てています。絶対に ON にしないでください。

付録

故障かな？と思ったら

現象	この点を確認してください	参照ページ
モニタに画像が映らない、あるいは映像が暗い	カメラ本体とモニタがビデオケーブルで正しく接続されていますか。モニタの入力端子は間違っていませんか。	P.18
	ACアダプタはコンセントに正しく接続されていますか。	P.18
	ACアダプタ側のプラグがカメラ本体側のDCジャックに正しく接続されていますか。	P.18
	AC アダプタのコードやビデオケーブルが傷んでいませんか。断線あるいは接触不良ではありませんか。	P.18
	電源コンセントには正しい電圧（AC100V）が供給されていますか。ブレーカが働いていますか。	P.18
	レンズ絞り（アイリス）が[CLOSE]側になっていませんか。	P.24
	ズームが望遠側にあり、ダークな単色系の被写体を撮影していませんか。	P.23
	LED（発光素子）が赤色点灯していませんか。 このときカメラ電源は[OFF]の状態です。	P.21
	OFF TIME機能が動作して、カメラ電源が[OFF]になっていませんか。（気が付かないまま電源を再投入し無操作状態が続くと、カメラ電源が[OFF]になります。）	P.21、P.34
	高速シャッタが設定されていませんか。	P.35
	モニタのTV方式が、カメラの映像信号の規格（NTSC）と異なっていませんか。 （国内のTV方式はNTSCです。）	—
オートフォーカスが合わない	マニュアル設定モードになっていませんか。AUTOボタンを押し、オートフォーカスモードにしてください。	P.23
	オートフォーカスモードは正しく設定されていますか。 OSD[LENS][AF MODE]を確認してください。	P.37
	濃淡の少ない被写体や動きの速い被写体を撮影していませんか。	P.23
	赤外照明は強くありませんか。OSD上で［CAMERA1］、[ICR]、[WAVELENGTH]を[850nm]または[950nm]にして使用してください。	P.35

現象	この点を確認してください	参照ページ
リモコン操作ができない	異なったID番号が設定されていませんか。	P.30
	リモコンの電池残量を確認してください。	P.13
	太陽光やインバータ蛍光灯の光が受光部に入ると、リモコンからの信号を正しく受光できない可能性があります。 光を遮り、リモコン操作をしてください。	P.13
	OSD上で［PAN TILT］［PRESET STILL］が［ON］になっていませんか。[ON]の場合は、パン・チルト・ズーム操作ができません。	P.38
白黒画像になる	本カメラには白黒切換機能があります。設定をご確認ください。	P.35
白黒画像に切換わらない	OSD上で［CAMERA1］［ICR］が［OFF］になっていませんか。[OFF]の場合は、赤外カットフィルタ脱着機能が動作しません。	P.35
カラーと白黒画面が頻繁に切り換わる	赤外照明は強くありませんか。 OSDで［CAMERA1］［ICR］［AUTO LEVEL］の数値をあげて使用してください。	P.35
蛍光灯などを撮影すると画面がちらつく	OSD上で［CAMERA1］［HS-SHUTTER］が[OFF]の場合は、［1/100s］にすると軽減します。（明るさが変わりますので、レンズ絞り（アイリス）の基準レベルなどの調整が必要になる場合があります。）	P.35 （P.24）
プリセットポジションが合わない	カメラヘッドの向きが手で変えられている可能性があります。リモコンのRESETボタンを押して、正しいポジションに修正してください。	P.22

以上のことを確認後もなお異常のある場合は、お買い上げの販売店または最寄りの弊社支店・営業所までご相談ください。

仕様

一般性能

項目	内容		
電源電圧（本体）	DC 12V		
消費電力（本体）	18W		
本体サイズ	直径 159mm　高さ 170mm　（突起物・取付金具は含まず）		
本体質量	1.6kg　（取付金具・天井裏金具を含む、ドームカバー除く）		
映像信号方式	NTSC方式		
外部出力端子	コンポジット・ビデオ	BNCピンジャック / 75Ω不平衡	1
外部制御端子	RS-485/RS-422	5Pコネクタ（白）	1
	アラーム入力	10Pコネクタ（黒）	1
	アラーム出力	3Pコネクタ（黒）	1
DC電源入力端子	外部電源ジャック（EIAJ RC-5320A　電圧区分4）		

レンズ部

項目	内容
光学ズーム倍率	電動32倍
焦点距離	f = 3.6 ～ 115.2mm
Fナンバ	F =1.6(W)～4.0(T)
水平画角	54.2°　～ 1.82°
レンズ絞り	オート（レベル調整可能）
フォーカス調整	フルオート / マニュアル

パン・チルト

項目	内容
パン方向 チルト方向	360°　（エンドレス回転） 上　15°　　下　195°
パン・チルト スピード	オート / マニュアル（8スピード）
プリセットポイント	256ポイント
オートパン	有り
シーケンシャル移動	有り（４パターン、３２ポジション）
自動復帰機能	有り（ホームポジション/オートパン/シーケンシャル）
クリーニング機能	有り
チルト可動範囲制限	有り（ドームカバー装着時）

カメラ部

項目	内容
撮像素子	1 / 4インチ　CCD
有効画素数	768（水平）× 494（垂直）
総画素数	811（水平）× 508（垂直）（41万画素）
同期方式	内部同期
最低被写体照度	カラー：0.7 lx（赤外カットフィルタ脱着機能OFF, 30IRE） 白黒　：0.08 lx（赤外カットフィルタ脱着機能ON, 30IRE）
電子ズーム	最大16倍
逆光補正	ON / OFF
ホワイトバランス	オート / ワン・プッシュ / マニュアル / 室内モード / 屋外モード / 蛍光灯モード
解像力	水平　520 TV本以上 垂直　360 TV本以上
S/N比	50 dB（AGC 0dB時）
Day/Night機能（ICR）	有り
マスキング機能	有り（最大10ヵ所）
モーションディテクタ機能	有り（最大16ヵ所）
ワイドダイナミック機能	有り
画像反転（上下左右）機能	有り
AGCゲイン調整	有り（0dB～24dB）
輪郭補正レベル調整	有り（15段階）
高速シャッタ	有り（1/60s～1/50000s）
低速シャッタ（電子感度アップ）	有り（最大80フィールド）

その他

項目	内容
OSD メニュー画面	有り（カメラ設定）
ディージー・チェーン接続数（RS-485）	最大　223台

付属品

名称	数量
ACアダプタ （入力定格　AC100V-240V　50/60Hz）	1
ワイヤレスリモコン (RC-PTW)	1
単4乾電池	2
UART端子・中継ケーブル（5P.コネクタ色：白）	1
アラーム入出力端子・中継ケーブル（10P.コネクタ色：黒）	1
アラーム入出力端子・中継ケーブル（3P.コネクタ色：黒）	1
本体固定ネジ　M3×5	1
天井取付金具	1
取扱説明書	1
保証書	1
ドームカバー	1

注意事項

・ 仕様は予告なしに変更することがあります。予めご了承ください。

別売オプション

名称
リモコン延長ユニット RSU-400

注意事項

・ 仕様は予告なしに変更することがあります。予めご了承ください。

「ELMO」は株式会社エルモ社の商標です。

保証と修理サービスについて

・保証書について
保証書は販売店からお渡しします。
必ず「販売店名・購入日」などの記入をお確かめください。
保証内容をよくお読みの上、大切に保存してください。

保証期間：お買上げ日から１年

・保証期間中に修理を依頼されるときは、お買上げの販売店にご連絡ください。
保証書の記載内容により、販売店が修理いたします。

・補修用性能部品について
当社ではこの製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後８年間保有しています。
この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。

・ご連絡していただきたい内容
ご住所・ご氏名・電話番号
製品名・型名
ご購入日（保証書をご覧ください）
故障内容
できるだけ詳しい異常の状況

・保証期間経過後、修理を依頼されるときは、お買上げの販売店にご相談ください。
修理により製品の機能が維持できる場合には、ご要望により、有料で修理いたします。

・保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な点は、お買上げの販売店にお問い合わせください。

愛情点検　●長年ご使用の機器の点検をぜひ！　熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により製品が劣化し故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか	●電源を入れても映像が出ない。 ●コードを動かすと通電しないことがある。 ●映像が時々、消えることがある。 ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。	➡	ご使用を中止	故障や事故防止のため、コンセントからACアダプタをはずして必ず販売店にご相談下さい。

株式会社 エルモ社

古紙配合率100%再生紙を使用しています。

製品のお問い合わせは、最寄りの弊社支店または営業所へ

本　　社	〒467-8567	名古屋市瑞穂区明前町６番１４号	☎(052)811-5131
東京支店	〒108-0073	東京都港区三田3丁目12番16号　山光ビル4階	☎(03)3453-6471
名古屋支店	〒467-8567	名古屋市瑞穂区明前町６番１４号	☎(052)824-1571
大阪支店	〒540-0039	大阪市中央区東高麗橋２番４号	☎(06)6942-3221
九州支店	〒812-0039	福岡市博多区冷泉町2番8号　朝日プラザ祇園2階	☎(092)281-4131
仙台営業所	〒980-0021	仙台市青葉区中央4丁目10番14号　エノトセーフビル2階	☎(022)266-3255
広島営業所	〒730-0041	広島市中区小町5番8号　ドルチェ2階	☎(082)248-4800

URL:http://www.elmo.co.jp

6X1PTWC01_R1-Cx